

全日本学生自動車連盟九州支部 2013 年度総会議事録

日時 2013 年 12 月 7 日(土) 13:30～14:30

場所 九州大学 21 世紀プラザ 多目的室

出席：九州大学、九州工業大学、大分大学、西南学院大学、久留米大学、北九州市立大学、佐賀大学(*)、鹿児島大学(*)、福岡工業大学

欠席：福岡大学、崇城大学、熊本学園大学、熊本大学、久留米工業大学、宮崎大学、九州産業大学

(*)は委任状提出校を表す

全加盟校 16 校中、出席 9 校（委任状提出校 2 校含む）

全日本学生自動車連盟九州支部規約第 6 章第 18 条 4 により、成立

議題 1 全日本学生自動車連盟九州支部活動報告

全日本学生連盟九州支部の 2013 年度における活動報告および、2014 年度における活動計画について下記の報告があった。

2013 年度活動報告

全九州学生選手権大会

全九州学生ダートトライアル選手権大会	3 月 31 日 (日)
春期全九州学生ジムカーナ選手権大会	6 月 30 日 (日)
秋期全九州学生ジムカーナ選手権大会	10 月 13 日 (日)
全九州学生ラリー	11 月 9、10 日 (土、日)

2014 年度活動計画

全九州学生選手権大会

全九州学生ダートトライアル選手権大会	未定
春期全九州学生ジムカーナ選手権大会	未定
秋期全九州学生ジムカーナ選手権大会	未定
全九州学生ラリー	11 月 8、9 日 (土、日)

(福岡県内)

全日本関連

全日本学生ダートトライアル選手権大会	8月3日(日)
	(広島県 テクニックスステージタカタ)
全日本学生ジムカーナ選手権大会	8月23、24日(土・日)
	(三重県 鈴鹿サーキット 国際南コース)
エコドライブコンテスト	8月25日(月)
	(三重県 鈴鹿サーキット本コース)
全日本学生運転競技大会	11月16日(日)
	(東京都 日通自動車学校 杉並校)

日程などが未定のものについては、決定次第随時ホームページにて公表することとなった。

なお、2013年度の計画について、全日本学生自動車連盟総会についても記載すべきとの指摘があったため、11月16日(日)に東京で開催される旨述べた。

議題1は承認された。

議題2 会計報告

2013年度の会計報告がされた。

柴田理事より、表の作り方が間違っている旨ご指摘があった。
具体的には、支出にマイナスが付くのはおかしいのではないか、ダートの赤字分については、支部運営費からマイナスを出すようにすべきである、各大会の繰越金は本来支出として計算すべきである、というものであった。正しい帳簿を作れるように、次回以降改善することになった。

議題2は承認された。

議題3 議決

3つの議案に関する議決が行われた。

議案 1 2013 年 JAF スピード SC 車両の触媒規制

全日本学生自動車連盟総会において、今年度の JAF スピード SC 車両規則に記載の通り、2015 年度より SC 車両は触媒装着をしなければならないという旨の議決がなされた。

そのため、九州支部においても、全日本と同様の規則に揃える観点から、触媒の装着を、2014 年度は強く推奨、2015 年度以降義務化することが提案された。

なお、九州大学より、車検における触媒装着の有無の確認方法について質問がなされた。これに対しては、検査機器の購入が困難であること、検査時間の確保が難しいことなどを理由に、車検委員による目視のみの確認とする旨回答した。

議案 1 は承認された。

議案 2 福岡工業大学の全日本学生自動車連盟再加盟について

平成 25 年度の全九州学生大会において、全日本学生自動車連盟及び全日本学生自動車連盟九州支部に加盟していなかったためにオープンクラスで出場していた福岡工業大学より、平成 26 年度より全日本学生自動車連盟に再加盟し、選手権クラスに出場したいという意向があったことから、その了承に関する決議が行われた。

これに関して、柴田理事より複数の質問があり、連盟費の滞納について調査することとした。また、上田理事からは、2 点ご指摘があった。1 点は、加盟の手順について、来年度は九州支部加盟、全日本準加盟扱いとなり、再来年度から、全日本総会における九州支部委員長の推薦をもって全日本加盟となる、という点であった。もう 1 点は、来年度の全日本学生自動車連盟への上納金の支払いには、準加盟校の分も含まれるのか、確認すべきである、という点であった。

議案 2 は承認された。

議案 3 全九州学生選手権シリーズポイントの変更について

近年、ダート大会においては、参加者の減少及び運転者間の実力の差の拡大が見られる。これを改善するために、シリーズポイントの規則を変更するという提案がなされた。提案は以下の 2 点であった。

提案 1 ダートトライアル競技のポイント配分を高くする。

昨年度提案されたもので、1位から順に

25 18 15 12 10 8 6 4 3 2

とし、現在の1.5倍程度に引き上げる。

提案2 個人クラスのシリーズ有効戦数を2戦から3戦に増やす。

これにより、すべての大会に参加したほうが有利という、妥当な状態になる。

この提案のどちらか、もしくは両方を採用するか、現状維持とするかについての議決が行われた。

議決の結果、提案1のみに賛成が2票、提案2のみに賛成が1票、提案1及び2に賛成が4票、現状維持が2票であった。ここに、委任分である2票を提案1及び2に賛成に加算して、提案1及び2はともに承認された。

なお、ポイントは全クラスで提案1のとおりに変更すること、実際に変更してみて問題があればその時点で再検討することなどが同時に議決された。また、議決前に複数の質疑応答及び提案が行われ、学連にてダートトライアル練習会を開催することを検討してみてはどうかという意見が出された。

議題4 全日本からの報告

全日本学生自動車連盟総会において、2点報告があった。

報告1 議題3の議決1で述べたように、2015年度よりSC車両の触媒装着を義務とする。

報告2 パドックからコースまで、各チーム2名の誘導員をつけることとする

なお、報告2について、柴田理事より、誰が誘導員で誰が応援であるか区別がつかない点に関して指摘があったため、タバードの義務化などを検討することとなった。

議題5 九州支部からの報告

九州支部からは、下記の報告があった。

今後情報の発進におけるweb化を推進し、大会のエントリーリストなどをホームページ

にて発表する等行っていく。

議題 6 2014 年度常任委員の紹介

下記のように紹介があった。

常任委員長 九州大学 服部 航

常任副委員長 九州工業大学 久原 亘貴、九州大学 山田 拓也

会計 九州工業大学 池田 佳允

常任委員 九州大学 佐藤 広基、九州工業大学 渡辺 裕介、

九州工業大学 谷口 文南

議題 7 加盟校から

加盟校からは特に報告はなかった。